

大会名 Competition	第56回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技【女子決勝】
NO. M-2	Year Month Day Time 2010 年 6 月 8 日 12 : 00
場 所 Place	秋田市立体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B															
明桜	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>9</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>21</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	19	1st	17	22	2nd	9	12	3rd	16	22	4th	21	OT			湯沢北
19	1st	17															
22	2nd	9															
12	3rd	16															
22	4th	21															
OT																	
75		63															
○		●															

主審:Referee
久米克弥 (秋田)
副審:Umpire
疋田晋 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
秋田西高男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	檜森香純	cap	26	1	8	7	3	4	×	中嶋里奈	CAP	2	0	1	0	1
5	×	伊藤瑞穂		11	2	0	5	3	5	×	高橋真綾		14	3	2	1	4
6	/	木村要音		9	1	2	2	3	6	×	安田晴香		2	0	1	0	0
7	×	藤原拓美		17	0	6	5	3	7	/	鈴木真琴		2	0	1	0	1
8	×	加藤礼		3	1	0	0	3	8	×	伊藤美和子		24	0	9	6	3
9	×	工藤綾華		7	1	2	0	5	9	×	佐々木桃子		5	0	2	1	1
10		太田美彩子		-	-	-	-	-	10	/	菅野早希		6	2	0	0	2
11		佐井美智子		-	-	-	-	-	11	/	小松佳緒里		6	0	3	0	5
12		佐々木舞子		-	-	-	-	-	12	/	高橋ゆつき		0	0	0	0	2
13		齊藤明梨		-	-	-	-	-	13		稲場紗友里		-	-	-	-	-
14		熊谷春花		-	-	-	-	-	14	/	山口紗耶		1	0	0	1	0
15		真崎奈生		-	-	-	-	-	15	/	加藤三津子		0	0	0	0	0
16		吉田奈津美		-	-	-	-	-	16		加賀谷真衣		-	-	-	-	-
17	/	加藤昌子		0	0	0	0	1	17	/	関美咲子		1	0	0	1	0
18		高橋千智		-	-	-	-	-	18	/	工藤愛里子		0	0	0	0	1
19		福田彩花		-	-	-	-	-	19		鎌田怜実		-	-	-	-	-
20	/	土岐環奈		2	0	1	0	0	20	/	佐藤光		0	0	0	0	1
21		船木春菜		-	-	-	-	-	21		藤坂結有		-	-	-	-	-
コーチ		嘉藤喜隆							コーチ		樋渡真						
Aコーチ		渡部法宏							Aコーチ		佐藤優						
合計				75	6	19	19	21	合計				63	5	19	10	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は全県新人の覇者明桜と4連覇を狙う湯沢北の対戦となった。両チームともマンツーマンディフェンスでのスタート。明桜は#9工藤、#8加藤の連続3Pで先行するが、湯沢北は#8伊藤を中心に加点する。一進一退の攻防となり、第1ピリオドは19-17と明桜がリードして終了。

第2ピリオド、明桜は1-2-2の激しいゾンプレスで湯沢北のミスを誘い、それを着実に得点につなげる。対する湯沢北はオフェンスのリズムが悪く、攻め手を見つけられない。リバウンドもことごとく明桜に支配され、41-26と明桜が15点のリードでの折り返しとなった。

第3ピリオドに入ると湯沢北は激しいディフェンスでボールを奪い、点差を縮めようとするが、明桜は#7藤原のバスケットカウントで悪い流れを断ち切る。その後は両者譲らず、53-42と湯沢北がわずかに差を詰めて第3ピリオドが終了。

迎えた最終ピリオド、追いつきたい湯沢北は#5高橋、#11小松の連続得点で一時は8点差まで追い上げる。しかし明桜は#4檜森のバスケットカウントで湯沢北の追い上げムードを一蹴する。明桜はファウルで得たフリースローでリードを守り、75-63で校名変更以来初の栄冠に輝いた。

大会名 Competition	第56回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技
NO. M-3	Year Month Day Time 2010年6月8日 13:50
場所 Place	秋田市立体育館



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チームA		チームB															
能代工	<table border="1"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>28</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>12</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	25	1st	14	23	2nd	10	28	3rd	19	23	4th	12	OT			横手清陵
25	1st	14															
23	2nd	10															
28	3rd	19															
23	4th	12															
OT																	
99		55															
○		●															

主審:Referee
谷地温 (秋田)
副審:Umpire
佐藤良明 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
聖霊高校バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		熊坂兼		-	-	-	-	-	4	×	奥山京介	cap	3	0	1	1	4
5	×	西島宏哉		18	0	9	0	1	5	×	渡部豊和		10	0	4	2	1
6	×	笹木皓太	cap	15	2	4	1	0	6	×	近江聖人		22	2	6	4	4
7	/	秋葉真司		0	0	0	0	1	7	×	鈴木貴大		8	2	1	0	1
8	×	志水一希		10	0	4	2	2	8	×	高橋翔		3	0	1	1	3
9	/	中山祐樹		5	0	2	1	3	9		柴田駿輔		-	-	-	-	-
10		熊谷慎也		-	-	-	-	-	10	/	星野健太		5	1	1	0	1
11	×	田中浩喜		6	0	3	0	1	11	/	高橋海		0	0	0	0	3
12	×	溝坂太成		4	0	2	0	1	12		牧野陸		-	-	-	-	-
13	/	土屋真人		19	2	4	5	1	13		佐藤達哉		-	-	-	-	-
14	/	野里淳貴		6	0	3	0	1	14		鈴木琢磨		-	-	-	-	-
15		三浦基		-	-	-	-	-	15		安藤光生		-	-	-	-	-
16	/	伊藤健太		0	0	0	0	3	16		丹綾平		-	-	-	-	-
17		金田海郷		-	-	-	-	-	17	/	斉藤慎太郎		0	0	0	0	1
18		工藤直樹		-	-	-	-	-	18		石山翔平		-	-	-	-	-
19	/	中村正也		16	0	6	4	2	19		渡辺尚之		-	-	-	-	-
20		松橋広武		-	-	-	-	-	20	/	鈴木尚斗		4	0	2	0	1
21		吉川雄磨		-	-	-	-	-	21		佐藤佑輝		-	-	-	-	-
コーチ		佐藤信長							コーチ		佐藤匠						
Aコーチ		安保敏明							Aコーチ		伊藤健						
合計				99	4	37	13	16	合計				55	5	16	8	19

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は41連覇中の能代工高と初の決勝進出となった横手清陵学院高との顔合わせとなった。両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスから入る。能代工は#5西島のインサイドで先制するもすぐさま清陵#6近江が3Pで対抗する。その後は両チームとも主導権を奪い合い、拮抗した展開となる。試合が動き始めたのは3分を過ぎたあたりから。能代工はオールコートの1-2-2ゾーンプレスからハーフ2-3ゾーンに変えると、横手清陵はオフェンスのリズムを崩して得点が止まる。能代工は#5西島のドライブやインサイド、#13土屋の3P、#11田中のゴール下などで17-6と引き離すが、清陵も#6近江、#7鈴木の3Pでなんとか盛り返し、第1Qは25-14で終了。

第2Qは横手清陵#6近江がドライブで先制するも、1-2-2フルコートプレスとハーフ2-3ゾーンでじわじわとプレッシャーをかけていく能代工。苦しいシュートやバスマスなどでゴールが遠い清陵は、39-18から4分間無得点となる。結局第2Qは48-24で終わる。

第3Qは#5西島のインサイド、速攻から#6笹木、#19中村が着々と加点し、清陵の足が止まってしまう。清陵は交代で入ってきた#10星野が3Pを決めるなどして、流れを変えようとするも、能代工はそれを許さない。攻撃の手を緩めることなく、第3Q終わって76-43。

第4Qも能代工は豊富な運動量で清陵を圧倒する。司令塔の#8志水はリバウンドやパスカットからのボールをコートいっぱい展開し、清陵の反撃の芽を摘む。#19中村のリバウンド、#9中山の速攻で得点を重ねる能代工が危なげなくリードを守り、最終的に99-55で42年連続47回目の優勝を飾った。